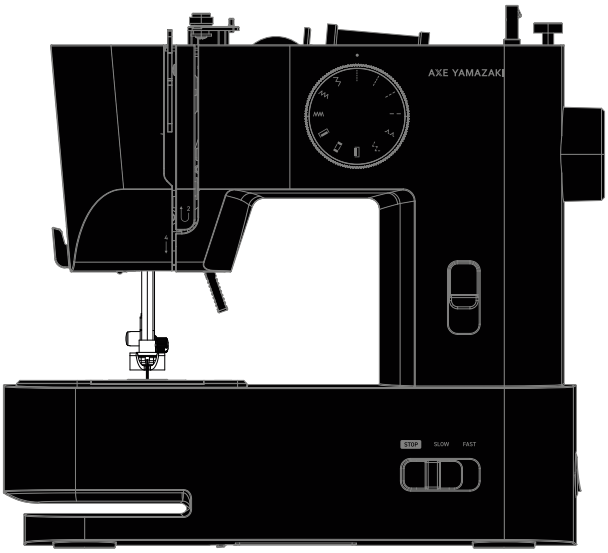
取扱説明書

型式　**MM-10**



もくじ

安全上のご注意	1
取り扱いのお願い	2
各部の名まえ	3
付属品	3
電源を入れる	4
フットスイッチ	5
スマホスタンド / 針ガード	6
模様選択	7
スピード調節ツマミ	7
押え上げレバー	8
押えの取り外しかた・取り付けかた	8
押えホルダーの取り外しかた・取り付けかた	9
ボビンの取り出しかた	9
下糸の準備	10

・　下糸の巻きかた
・　下糸のセット

上糸の準備	12

・　上糸のかけかた
・　下糸の引き上げかた

縫ってみる	14
返し縫い	14
糸調子の合わせかた	15
糸と針の関係	15
縫い方向の変えかた	16
厚地や段差を縫う	16
まつり縫い (裾上げ)	16
ボタンホール縫い	17
フリーアーム	18
お手入れ	19

・　針の交換
・　ボビンケースのそうじ

困ったときは	20
サービス工場のご案内・仕様	21
MEMO	22
修理・保証サービス	終
保証書	終

このミシンを安全にご使用いただくために、『 取扱説明書 』を
ご使用前に必ずお読みください。
また、『 取扱説明書 』はお手元に保管し、末永くご使用ください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。以下の表示を無視して誤った取り扱いをすることにより生じる内容を、次のように区分しています。

以下の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●このミシンは日本国内向け家庭用です。For use in JAPAN only.国外での使用および職業用としてご使用になった場合の保証は出来ません。
●仕様および外観は品質改善のため、予告なく変更することがあることをご了承ください。
●取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
●取扱説明書の内容を許可なく無断で複製をすることは禁じられておりますのでご了承ください。

警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。	注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人がケガをしたり財産に損害が生じる恐れがある内容を示しています。

この説明書で使用している絵文字の意味は次のとおりです

危険性を促す記号			行為を「禁止」する記号		行為を「指示」する記号	
火災の原因になります	感電の危険性があります	ケガの危険性があります	禁止	分解禁止	必ずすること	電源プラグを抜く

警告

死亡、火災、感電の恐れがあります。

火災・感電の原因となります。

一般家庭用電源AC100Vの電源以外では絶対に使用しないでください。

AC100V 50/60Hz

コードを傷つけたり、折り曲げ、結び、ねじれ、加工はしないでください。

傷付いたり、溶けて線がむき出しになったコードを使わないでください。

＊コードが傷付いた場合は販売店・サービスセンターにて純正部品をお買い求めください。

コードに机や椅子の脚など、重いものを載せないでください。

延長コードや分岐コンセントを使用したタコ足配線はしないでください。

火災・感電の原因となります。販売店・サービスセンターにご連絡ください。

ミシンの中に水や異物が入ったときは、電源を切り、ACアダプターを抜いてください。

発煙や異臭、異音などの異常が発生したら電源を切り、ACアダプターを抜いてください。

落としたり正常に作動しないときはACアダプターを抜いてください。

ACアダプターをコンセント（家庭用電源）にしっかり差し込んでください。

付属のACアダプターはこのミシン専用です。他の用途に使用したり、付属品以外のACアダプターを使用しないでください。

ミシンの中に乾電池を長期間入れっぱなしにしないでください。乾電池同士で通電し腐食します。

注意

ケガや財産に損害が生じる恐れがあります。

・電源を切るときは、ACアダプターを持ってコンセントから抜き差ししてください。
コードの断線や接触不良による感電の原因になります。
・ミシンの操作中はミシンから目を離さないでください。
・交換した針を放置しないでください。
・お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは特に安全に注意し、お子様から目を離さないでください。
・針を交換するときは、ACアダプター及び電池を抜いてください。
作業途中にミシンが動く恐れがありケガの原因となります。
・屋外や直射日光のあたる場所、高温多湿な環境、寒い場所での使用は避けてください。
部品の劣化や変形、正常に作動しないことがあります。

・幼児の手が届かない場所に保管してください。
針や押えなどの突起でケガの原因になる恐れがあります。
・糸をセットするときやミシンの手入れを行うときはACアダプター及び電池を抜いてください。
作業途中にミシンが動く恐れがありケガの原因となります。

・コードは巻き付けないでください。
コードの断線や接触不良による感電の原因になります。
・濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

・ミシンを使用しないときやミシンから離れたり使用を中断するときはACアダプター及び電池を抜いてください。
絶縁劣化、漏電などによる火災の原因になる恐れがあります。

・不安定な場所に置かないでください。
・動作中に、はずみ車・針・天びんに手を触れないでください。
手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。
・曲った針は使わないでください。
針が折れ、ケガの原因になります。
・すべり板を開けたままミシンを操作しないでください。
・縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。

・電池を誤使用すると発熱・破裂・液漏れ・発火の恐れがあります。
以下に注意してください。

1. 二次電池(充電式電池)またはマンガン電池は、絶対に使用しないでください。
2. 古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池をまぜて使用しないでください。
3. +−(プラスマイナス)を正しくセットしてください。
4. 使用後は、必ず電源を切り(OFF)、電池を外してください。
5. ショートさせたり充電・分解・加熱・火の中に入れたりしないでください。
6. 万一、電池から漏れた液が目に入ったときはすぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。皮膚や服に付いたときは水で洗ってください。
7. 破棄するときは、自治体の廃棄物処理の指示に従ってください。

取り扱いのお願い

永くお使いいただくため、次のことを守ってください。

縫製以外や業務用、職業用の目的には、ご使用にならないでください。極度の部品摩耗や破損につながります。

注意

ケガやミシンの故障が発生する恐れがあります。

■曲がった針を使わない。
曲がった針を使うと、次のようなケガや部品の損傷につながります。
・針穴に刺さらず、折れた針が飛びケガをする恐れがあります。 ・押えや針板に傷を付け、糸調子が合わなくなります。

■このミシンで縫えないもの。
つぎのものはこのミシンでは縫えません。針やモーターなどに過度の負担をかけ、故障の原因になるだけでなく、針折れなどの原因にもなります。
・木、プラスチック、金属などの板・ぬれた布、粗い網(漁網など) ・はずみ車を手で回しても、針が刺さりにくい布 ・極端な段差

■保管時の結露(つゆつき)について。
寒いところから、暖かい室内に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋では、本体の表面や内部に結露(つゆつき)が起こることがあります。結露がなくなるまで、ACアダプターをコンセント(家庭用電源)に接続しないでください。そのままお使いになると感電や誤動作・故障の原因になります。

■直射日光・熱気をさける。
直射日光が当たる場所や熱器具の近くには置かないでください。プラスチックのカバー部分や内部部品に変色・変形や部品劣化などの悪い影響を与えますのでご注意ください。

■糸絡みのとき、糸・布を引っ張らない、無理にはずみ車を回さない。
針や部品を破損します。

■ミシン表面のお手入れ。
プラスチック部分の汚れがひどいときは、中性洗剤をぬるま湯に薄め、布に浸してかたく絞り、乾いた布で仕上げてください。
＊ ベンジン・シンナー・ワックスなどで拭かないでください。

■説明書で指定された以外の分解・改造はしない。
ネジ類の締め忘れやゆるみにより、針折れや部品の破損につながります。

■使用した後、上糸を外す。
糸をかけたまま収納すると、糸たて棒を破損します。上糸を外してください。

■長期間ご使用にならないとき。
長期間ご使用にならないと、油の乾燥・固着などで機能に支障をきたす場合があります。
時々、ミシンを動かしてください。油の固着を防ぐことができます。

各部の名まえ

ミシン本体 ＜正面＞

糸案内
糸たて棒
上糸調節ダイヤル
下糸巻き軸
下糸巻きストッパー
はずみ車
天びん
模様選択ダイヤル
糸案内板
返し縫いレバー
糸切り
スピード調節ツマミ
針板
すべり板

ミシン本体 ＜背面＞

糸かけ
押え上げレバー
電源スイッチ
電源コードジャック
フットスイッチジャック

針の周辺

針止めネジ
押えホルダー
針棒糸かけ
針
押え
押えホルダー
止めネジ

付属品

※必ず専用の付属品をご使用ください。

スマホスタンド /
針ガード

針ガードとお持ちのスマートフォンの置き台としてお使いいただけます。

家庭用プラスチックボビン 2 個
（高さ 11.5 ㎜ × 直径 20.5 ㎜）

糸通し器

糸こま押え

針 1 本 （ HA×1 #14 ）

ボタンホール押え

針板ドライバー
（針止めネジ・
押えホルダー
止めネジ用）

AC アダプター

フットスイッチ

QR コード
シール

QR コード
シール

電源を入れる

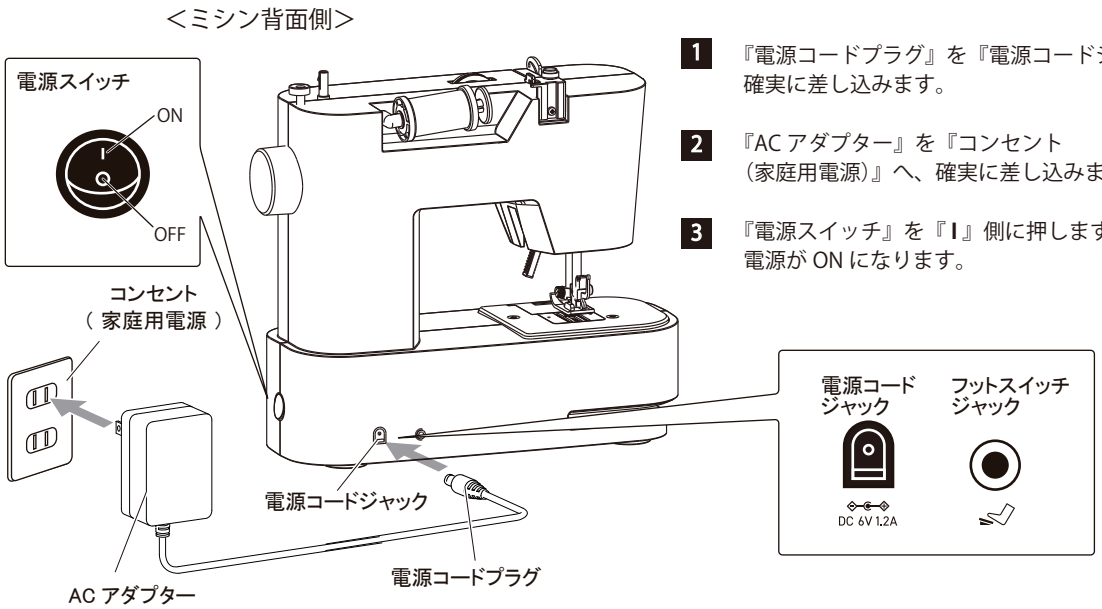
警告

- **電源コードは AC アダプターを持って抜く。**
  コードを引っ張ると、AC アダプターのコード部分が破損し、火災、感電、機器故障の原因になります。

注意

- **電源スイッチを『OFF』にする。**
  突然動くとケガをする恐れがあります。
- **電池の向き正確に入れる。**
  電池の破裂、液漏れにつながります。
- **使用後は、必ず電源スイッチ (OFF) にして、電池を外す。**
  電池の破裂、液漏れにつながります。
- **はずみ車や針周辺に手や物を置かない。**
- **周囲に物を置かない。**
- **水平なところに設置する。**
- **作業スペースを確保する。**

●AC アダプター

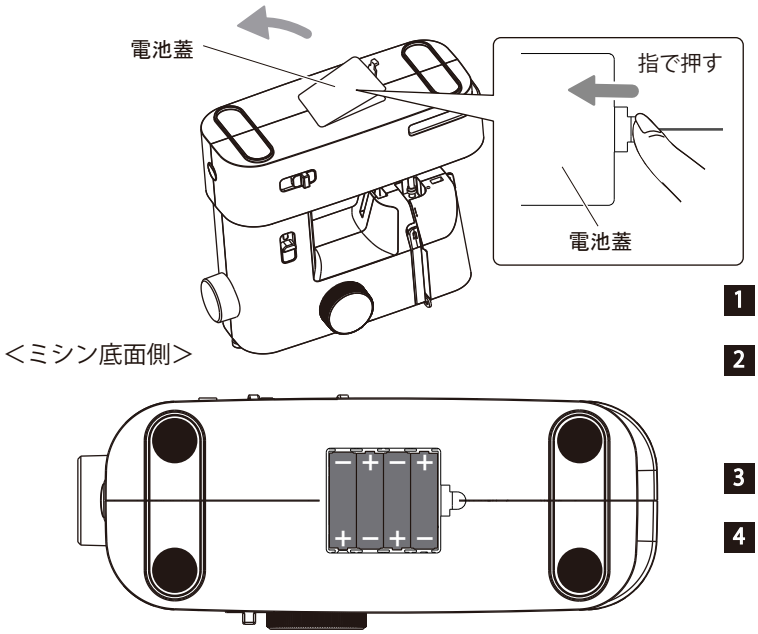


1 『電源コードプラグ』を『電源コードジャック』へ確実に差し込みます。

2 『AC アダプター』を『コンセント（家庭用電源）』へ、確実に差し込みます。

3 『電源スイッチ』を『I』側に押します。
電源が ON になります。

●電池 (単 3 形アルカリ電池 ×4 本)



単 3 形アルカリ乾電池使用 縫製可能持続時間の目安

デニム布 2 枚重ね：連続運転時　約 1 時間

※ 布の種類や布の重なり具合、
アルカリ乾電池の種類により
縫製可能持続時間には差があります。

1 ミシンの底面にある『電池蓋』を開きます。

2 単 3 形アルカリ電池 を 4 本
図のようにセットします。
＊電池の向きを必ず確認してください。

3 『電池蓋』を閉じます。

4 『電源スイッチ』を『I』側に押します。
電源が ON になります。

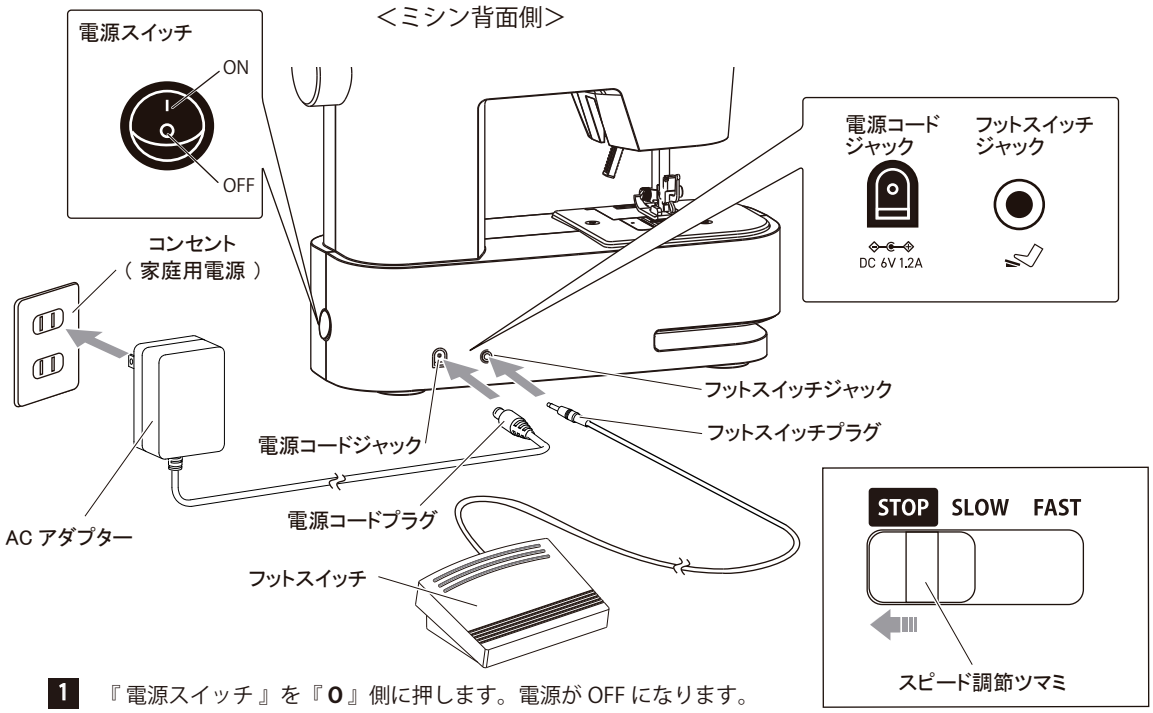
フットスイッチ

警告

- **電源コードは AC アダプターを持って抜く。**
  コードを引っ張ると、AC アダプターのコード部分が破損し、火災、感電、機器故障の原因になります。

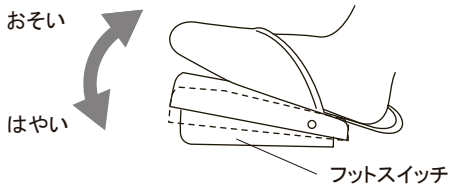
注意

- **電源スイッチを『OFF』にする。**
  突然動くとケガをする恐れがあります。
- **水平なところに設置する。**
- **作業スペースを確保する。**
- **はずみ車や針周辺に手や物を置かない。**
- **周囲に物を置かない。**
- **フットスイッチの上に物を置かない。**



1. 『電源スイッチ』を『**O**』側に押します。電源が OFF になります。
2. 『フットスイッチプラグ』を『フットスイッチジャック』に奥まで確実に差し込みます。
3. 『電源コードプラグ』を『電源コードジャック』に確実に差し込みます。
4. 『AC アダプター』を『コンセント（家庭用電源）』に確実に差し込みます。
5. 『電源スイッチ』を『**I**』側を押します。電源が ON になります。
6. 『スピード調節ツマミ』を『STOP』にして、『フットスイッチ』で操作します。

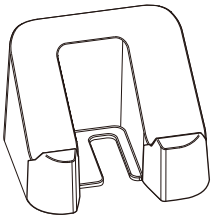
『フットスイッチ』でのミシンの動かしかた・止めかた



『フットスイッチ』を踏むと、ミシンが動き始めます。
また、踏むのをやめるとミシンは止まります。

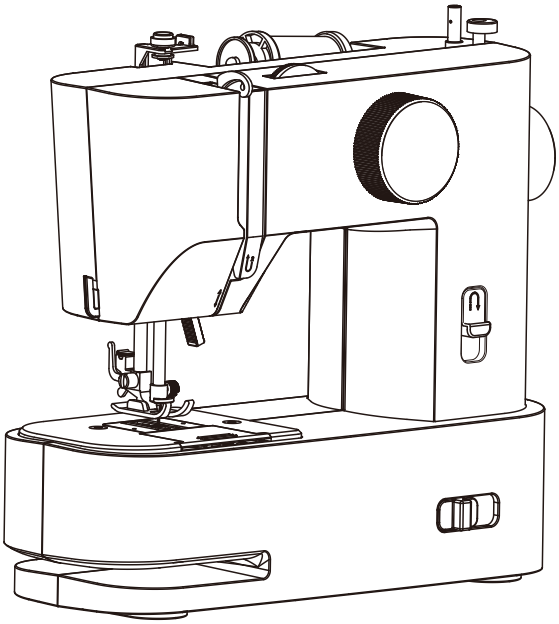
＊ 踏み込み加減によってスピードはおそい、はやいに切り替わります。
おそい：『フットスイッチ』を浅く踏みます。
はやい：『フットスイッチ』を深く踏みます。

スマホスタンド / 針ガード



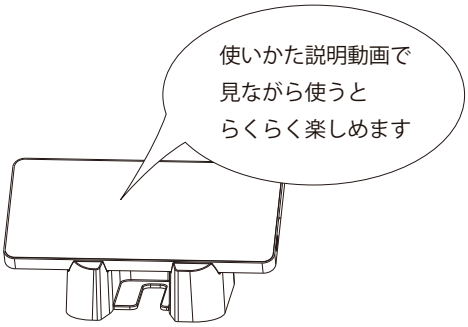
お持ちのスマートフォンを置くことができます。
ミシンを使っている途中で、「ちょっと離れる」ときに、針の前にかぶせて
お子様が直接針に触れるのを防ぎます。
また、このミシンには様々な使いかた説明の動画を順次ご紹介します。
各部の操作説明をはじめ、上糸のかけ方・下糸のかけ方や注意すべき重要個所を
分かりやすく説明しています。
お持ちのスマートフォン以外にもタブレット・お持ちのパソコンなどでもご覧になれます。
不具合が起きたときにもご活用になれます。
ぜひ、ご活用ください。

http://www.axeyamazaki.co.jp/kosodate/index.html



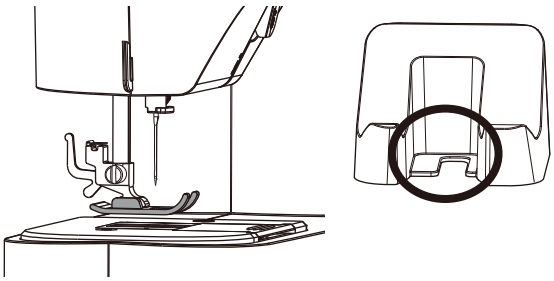
QR コード
シール

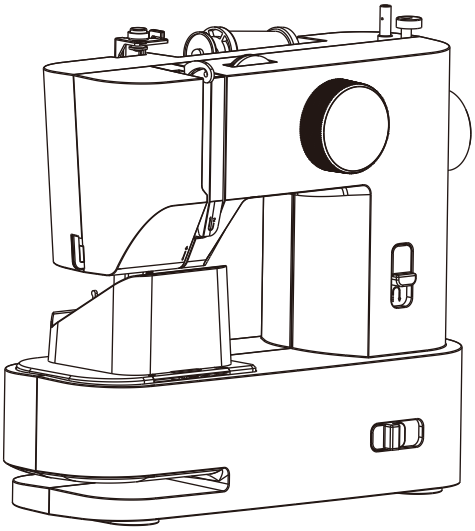
付属の『QR コード』シールは
見やすいところに貼って下さい。



ミシンから離れるときは
『スマホスタンド』を針ガードとして使えます。

1. 押えを上げる
2. 『スマホスタンド』の○で囲んだ部
   分を押えの下に挿入します。
3. 押えを下げます。



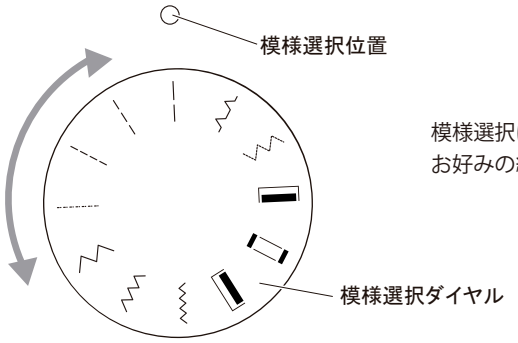


模様選択

注意

・**針先に注意する。**
ケガをする恐れがあります。

・**針が生地に刺さった状態で模様選択ダイヤルを回さない。**
針が折れ、ケガをする恐れがあります。

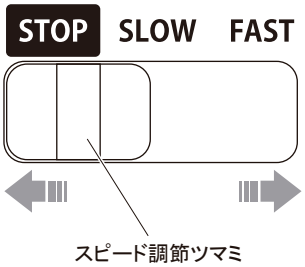


模様選択は『 模様選択ダイヤル 』を回して、『 模様選択位置 』にお好みの縫い模様を合わせます。

表示											
模様	直線縫い（中基線）				ジグザグ縫い			ボタンホール	点線ジグザグ	まつり縫い
	送り幅・最大	送り幅・大	送り幅・中	送り幅・小	振り幅・大	振り幅・中	振り幅・小			
用途	地縫い				ほつれ止め			ボタンホール	パッチワーク	裾上げ

スピード調節ツマミ

※『スピード調節ツマミ』を『SLOW』、『FAST』に合わせるとミシンはすぐに動きます。



ミシンの運転速度を好みのスピードにセットします。

●ミシンの運転速度が遅い状態・・・
おそい：『スピード調節ツマミ』を『SLOW』に合わせます。

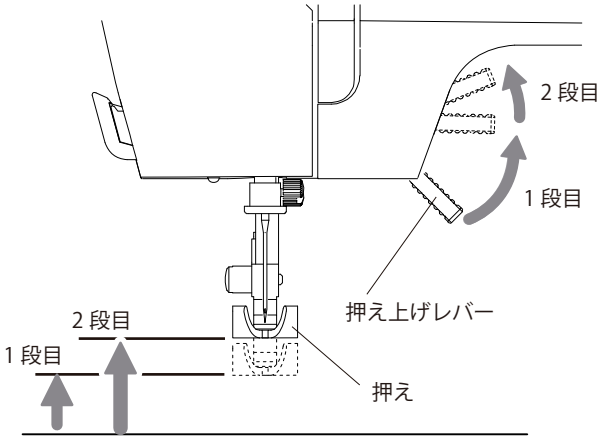
●ミシンの運転速度が速い状態・・・
はやい：『スピード調節ツマミ』を『FAST』に合わせます。

※ミシンを停止させたいときは『スピード調節ツマミ』を『STOP』に合わせます。

※フットスイッチ使用時は『スピード調節ツマミ』を『STOP』に合わせます。

押え上げレバー

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



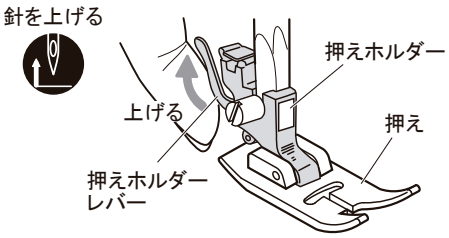
『 押え上げレバー 』を上げると、『 押え 』が上がります。
更に『 押え上げレバー 』を上げると、『 押え 』が
もう一段上がる 2 段階式になっています。

＊2 段目では、『 押え 』の高さは固定できません。
＊生地の厚みは 1 段目の高さを超えないようにしてください。

押えの取り外しかた・取り付けかた

・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

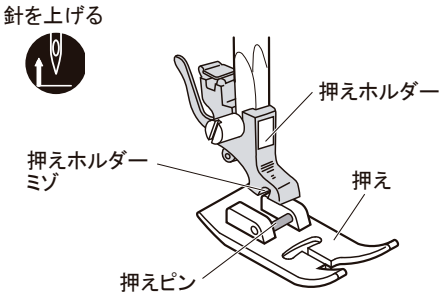


●押えの外しかた

1 『 はずみ車 』を手前に回し、針を上げます。

2 『 押え上げレバー 』を上げます。

3 『 押えホルダーレバー 』を上げると、『 押え 』が外れます。



●押えの取り付けかた

1 『 針 』と『 押え上げレバー 』を上げます。

2 『 押えピン 』を『 押えホルダーミゾ 』の真下に置きます。

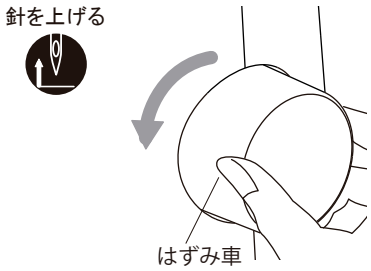
3 『 押え上げレバー 』をゆっくり下げ、『 押えピン 』と、
『 押えホルダーミゾ 』を合わせます。

＊『 押え 』がセットされると「カチッ 」と音がします。
＊音がしない場合や『 押え 』がすぐに外れるときはもう一度
『 押えピン 』と『 押えホルダーミゾ 』を合わせ直してください。

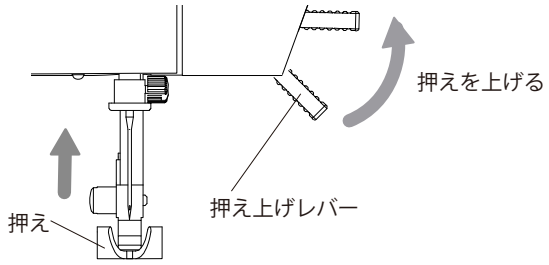
押えホルダーの取り外しかた・取り付けかた

注意

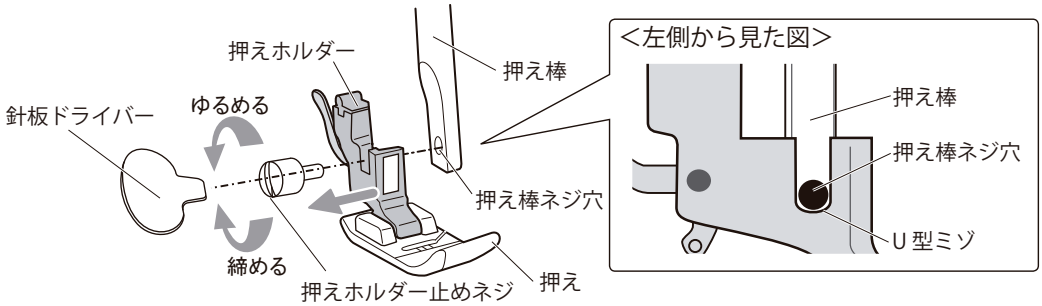
- **電源スイッチを『OFF』にする。**
  突然動くとケガをする恐れがあります。
- **針先に注意する。**
  ケガをする恐れがあります。



1 『はずみ車』を手前に回し、針を上げます。



2 『押え上げレバー』で『押え』を上げます。



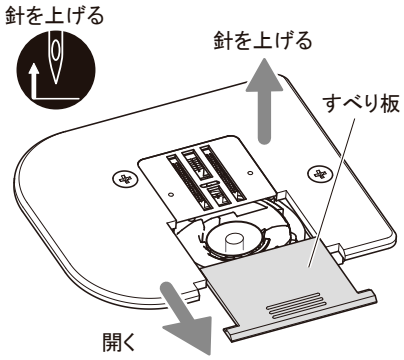
3 外す　：『押えホルダー止めネジ』を『針板ドライバー』でゆるめ、『押えホルダー』を外します。

付ける：『押えホルダー』のU型ミゾと『ネジ穴』の位置を合わせ、『押えホルダー止めネジ』を『針板ドライバー』で強く締めます。

ボビンの取り出しかた

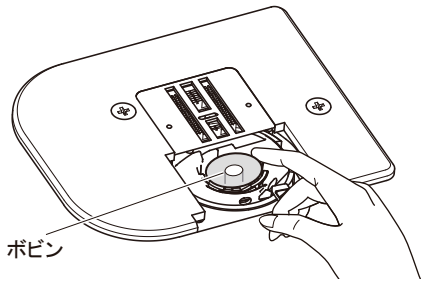
注意

- **電源スイッチを『OFF』にする。**
  突然動くとケガをする恐れがあります。
- **針先に注意する。**
  ケガをする恐れがあります。



1 『はずみ車』を手前に回し、針を一番上にします。

2 『すべり板』を手前に引いて開きます。



3 『ボビン』を取り出します。

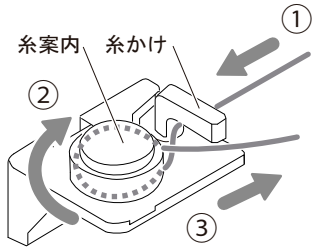
下糸の準備

＊ボビンは家庭用プラスチックボビン (高さ 11.5 ㎜ × 直径 20.5 ㎜) をご使用ください。
(異なるボビンをご使用されますとミシンの故障の原因につながります。)

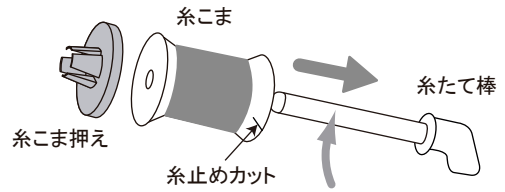
・　下糸の巻きかた

注意

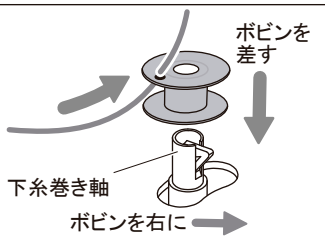
- **電源スイッチを『OFF』にする。** 突然動くとケガをする恐れがあります。
- **下糸巻きの作業中は針、天びん、はずみ車に触れない。**
- **針先に注意する。** ケガをする恐れがあります。

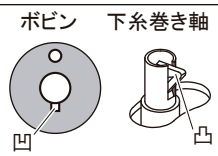


2 『 糸かけ 』にかけ、『 糸案内 』の下に糸をかけます。



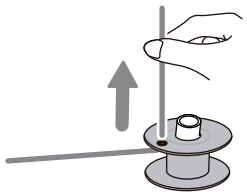
1 『 糸たて棒 』を少し上へ傾け、『 糸こま 』の『 糸止めカット 』を『 糸たて棒 』の根元側に向け奥まで差し込みます。『 糸こま 』が飛び出してこないように『 糸こま押え 』でしっかり押えます。
＊糸をセットしたあとは『 糸たて棒 』を水平に戻してください。



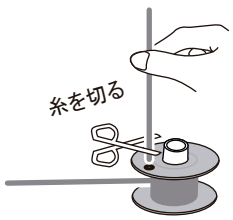


『 ボビン 』の凹と『 下糸巻き軸 』の凸を合わせて下さい。

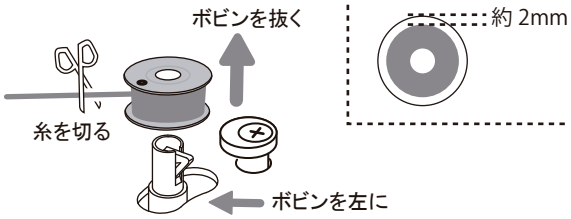
3 『 ボビン 』の穴に内側から糸を通し、『 ボビン 』を『 下糸巻き軸 』に差し込み、右に移動させます。



4 『 電源スイッチ 』の『 I 』側を押し、ON にします。糸の端を持ち『 スピード調節ツマミ 』を『SLOW』にして『 ボビン 』に 5〜6 回転巻きつけます。



5 『 スピード調節ツマミ 』を『STOP 』にしてミシンを一度止め、持っていた糸を『 ボビン 』の穴のきわで糸を切ります。



6 『 スピード調節ツマミ 』を『FAST』にして 8 割ほど巻き終わったら、ミシンを止め『 下糸巻き軸 』を左に押し『 ボビン 』を取り出し糸を切ります。

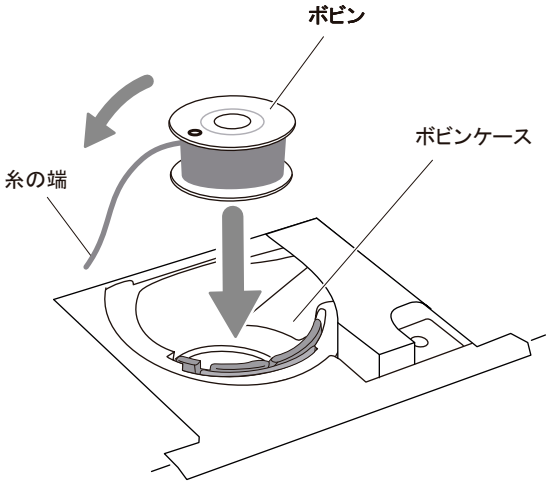
・ 下糸のセット

＊ボビンは家庭用プラスチックボビン (高さ 11.5 ㎜ × 直径 20.5 ㎜) をご使用ください。
(異なるボビンをご使用されますとミシンの故障の原因につながります。)

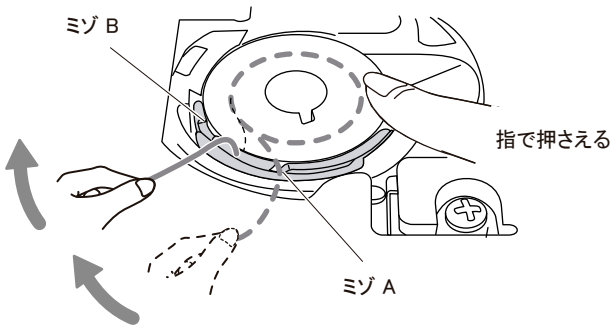
注意

・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

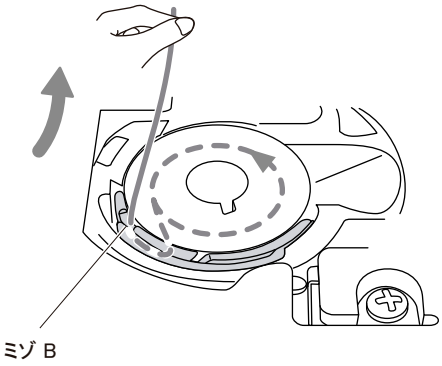
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



1 『 ボビン 』から糸を引き出し、
『 ボビン 』の左側から糸が出るように
『 ボビン 』を『 ボビンケース 』に入れます。

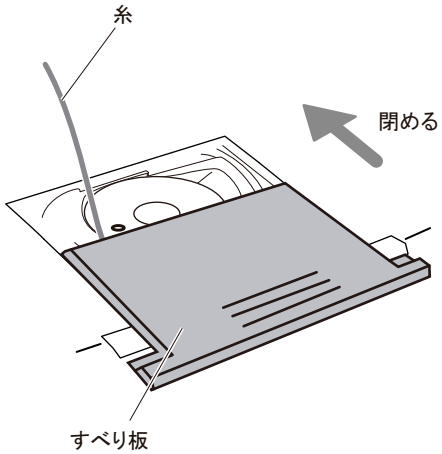


2 指でボビンを押えながら、引き出した
糸を『 ミゾ A 』にかけ、『 ミゾ B 』まで
左へ引きます。



3 糸を『 ミゾ B 』の上にのせ、
糸の端を向こう側に 10cm ほど出します。

＊糸を引き出した時、『 ボビン 』は
反時計方向に回転します。



4 『 すべり板 』を閉めます。

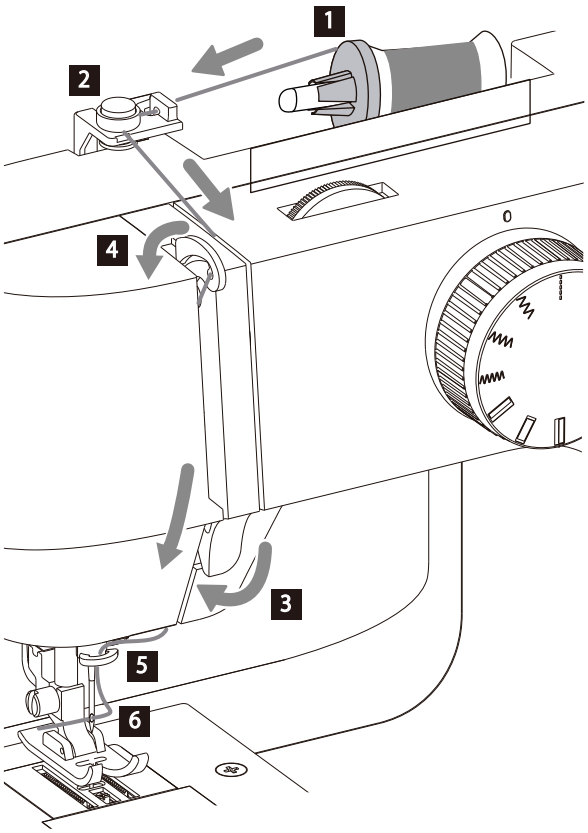
上糸の準備

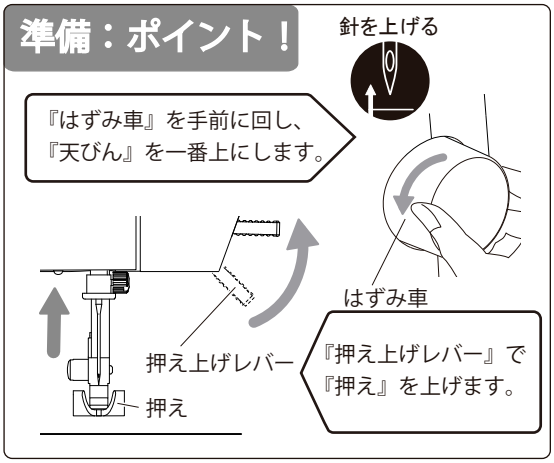
・　上糸のかけかた

注意

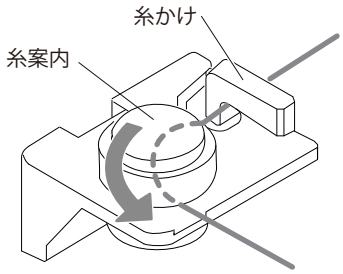
・**電源スイッチを『OFF』にする。**
突然動くとケガをする恐れがあります。

・**針先に注意。**
ケガをする恐れがあります。

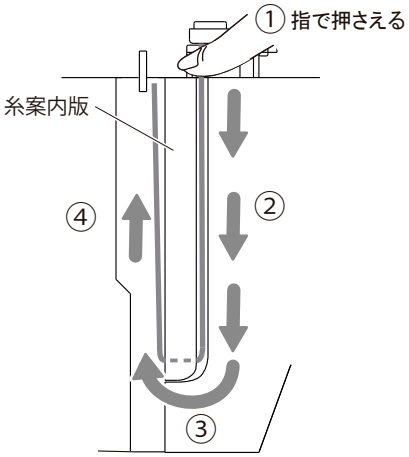




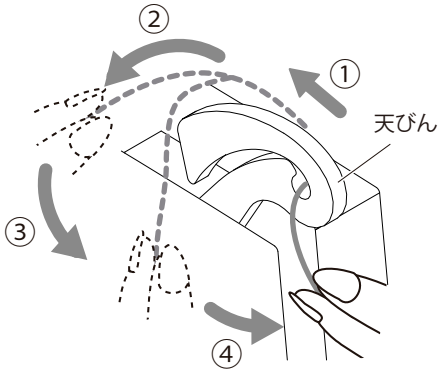
1 『糸たて棒』に『糸こま』と『糸こま押え』をセットします。
（P10／下糸の準備を参照してください）



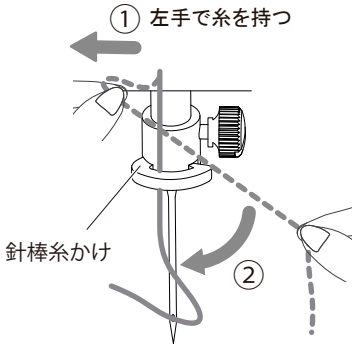
2 『糸かけ』と『糸案内』に糸をかけます。



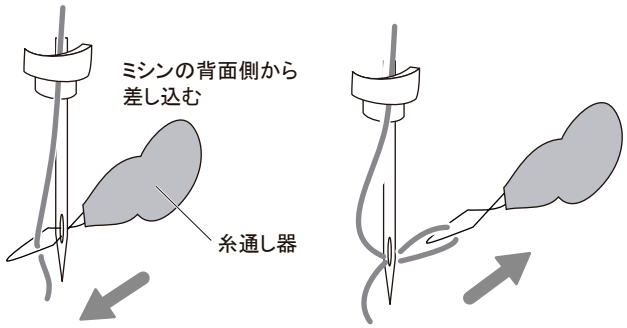
3 糸を軽く指で押えながら『糸案内板』にそって下までおろし、左上へ引き上げます。



4 糸を『天びん』の穴に右から左へ通し、そのまま『糸案内板』にそって糸をおろします。



5 『針棒糸かけ』に右側から糸をかけます。



6 『糸通し器』を針の向こう側から通し、
『糸通し器』に上から糸を通し、
『糸通し器』を向こう側へ引きます。

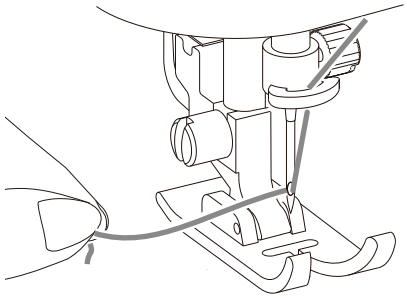
＊『糸通し器』が使いにくいときは『押え』を下げてください。

＊『糸通し器』を使用しない場合、針穴に正面から向こう側に糸を通します。

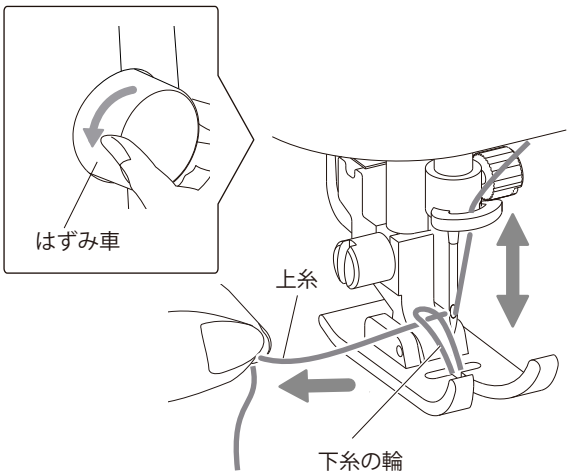
・ 下糸の引き上げかた

注意

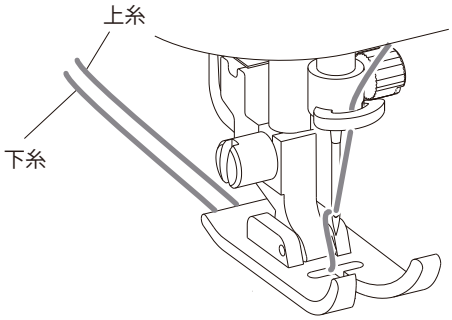
- **電源スイッチを『OFF』にする。**
  突然動くとケガをする恐れがあります。
- **針先に注意する。**
  ケガをする恐れがあります。



1 『押え上げレバー』で『押え』を上げ、
上糸の端を持ちます。



2 『はずみ車』を手前に 1 回転させ、
上糸を軽く引くと下糸の輪が引き出されます。
下糸の輪をつまみ、下糸を引き上げます。



3 上糸と下糸をそろえ『押え』の下に通し
10cm ほど後方へ引き出します。

＊『押え』が下がっているときは上げてください。

縫ってみる

＊厚い生地の場合は、フットスイッチをご使用ください。

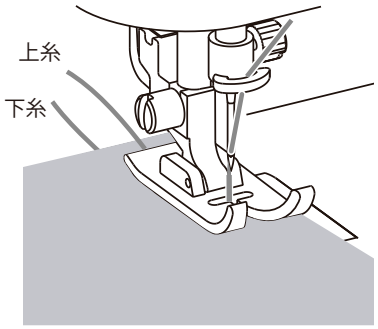
注意

- **針先に注意する。**
  ケガをする恐れがあります。
- **針が生地に刺さった状態で模様選択ダイヤルを回さない。**
  針が折れ、ケガをする恐れがあります。

1 縫い模様を選びます。（P7 ／ 模様選択を参照してください）

2 『上糸調節ダイヤル』を4に合わせます。
＊ 縫い上がりの生地の糸調子が合わない場合、
P15 ／糸調子の合わせかたを参照してください。

3 生地を『押え』の下に置き、『上糸』と『下糸』を
ミシン後方に少し引っ張りながら『はずみ車』を
手前に回して縫い始める位置に針を刺します。



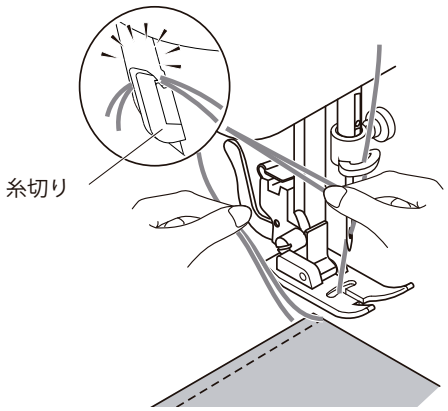
4 『押え』を下げます。

5 『電源スイッチ』を『I』側を押し、ON にします。
＊ 糸かけなどのまちがいがないか確認のため、
『はずみ車』を手前に回し、3 ～ 5 針を縫います。

6 ● 手元操作の場合
『スピード調節ツマミ』を『SLOW』に合わせると、
ミシンは動きます。

● フットスイッチの場合
『スピード調節ツマミ』を『ストップ』に合わせて、
『フットスイッチ』を踏み込むとミシンは動きます。

7 生地に手を軽くそえ、生地の進む方向を修正します。



8 ● 手元操作の場合
『スピード調節ツマミ』を『STOP』に合わせると、
ミシンは止まります。

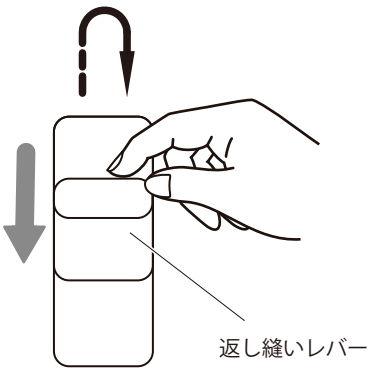
● フットスイッチの場合
『フットスイッチ』を踏み込むのを止めるとミシンは止まります。

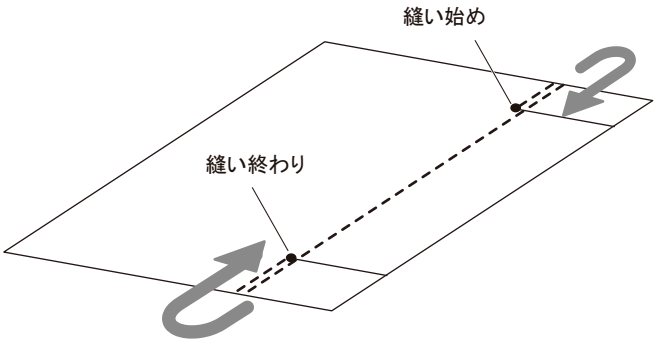
9 『糸切り』で糸を切ります。

返し縫い

注意

- **針先に注意する。**
  ケガをする恐れがあります。
- **針が生地に刺さった状態で返し縫いレバーを押さない。**
  針が折れ、ケガをする恐れがあります。





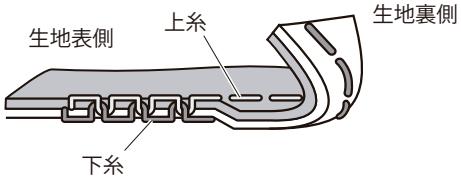
ミシンが動いているとき、『返し縫いレバー』を押している間は後進縫いになり、
『返し縫いレバー』から手を放すと前進縫いに戻ります。

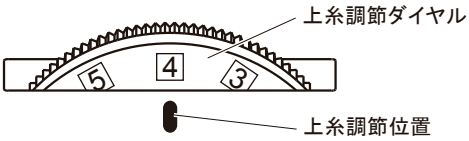
＊ 縫い始めと縫い終わりに返し縫いをするとほつれ止めになります。

糸調子の合わせかた

糸調子が合わない場合は、上糸調節ダイヤルを回し調節してください。

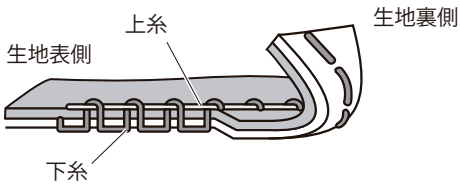
●正しい糸調子

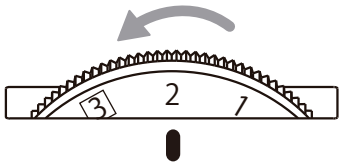




上糸と下糸が生地のほぼ中央で交わります。

●上糸が強いとき

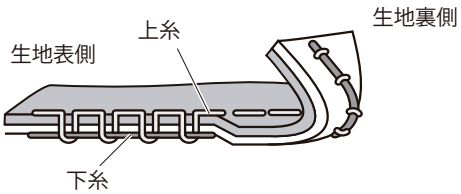


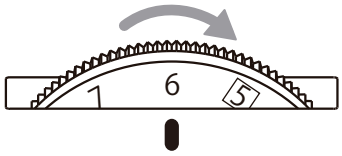


下糸が生地の表に出ます。
『上糸調節ダイヤル』を数字の
小さい方に回します。

＊ 下糸のボビンが正しくセットされているかの確認もしてください。
（P11 ／ 下糸のセットを参照してください）

●上糸が弱いとき



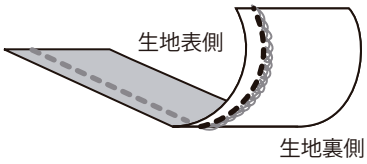


上糸が生地の裏に出ます。
『上糸調節ダイヤル』を数字の
大きい方に回します。

＊ 上糸のかけかたが間違っていないかの確認もしてください。
（P12 ／ 上糸のかけかたを参照してください）

生地の裏側の糸がタオル地のようなときは…

・上糸調子が弱い。　・『押え上げレバー』が上がっている。
・『天びん』から上糸が外れている。　・上糸のかけかたが間違っている。



ポイント！

『押え』を上げ、上糸を全て外し、上糸を再度正しくかけ直してください。（P12 ／上糸のかけかたを参照してください）

糸と針の関係

針　（HA×1）	糸
11 番	60 番 / 80 番 / 90 番
14 番	50 番 / 60 番 / 80 番
16 番	50 番 / 60 番

＊ 針は購入時（HA×1・14 番）がミシン本体にセットされています。
＊ 厚地のものや固い生地は、縫う前に手で『はずみ車』を回し、
生地を貫通する様子や生地の送り具合を、ご確認いただいてから
縫い始めてください。
＊ 家庭用ミシン針：11 番、16 番は付属しておりません。

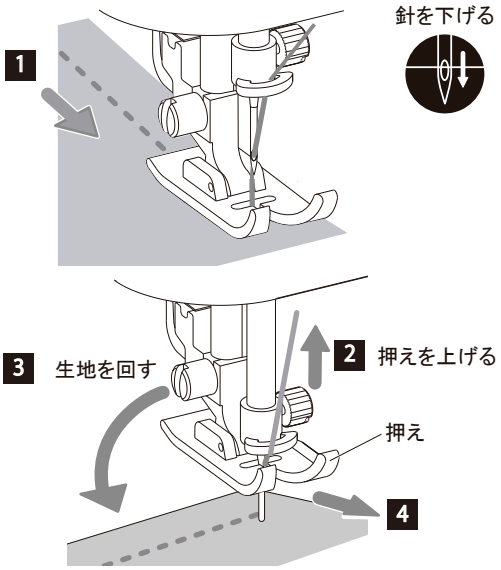
縫い方向の変えかた

1 生地の角まで縫い、ミシンを止め、
『はずみ車』を手前に回し、針を生地に刺します。

2 『押え上げレバー』で『押え』を上げます。

3 針を軸に生地を回し、縫い方向を変えます。

4 再び『押え上げレバー』で『押え』を下げ、
縫い始めます。



厚地や段差を縫う

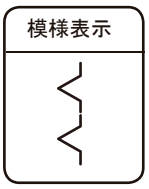
縫い始めや段差を縫うとき

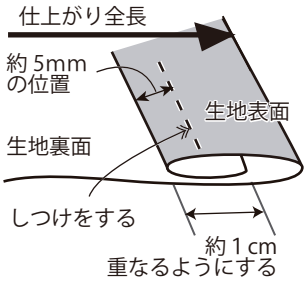
＊厚い生地は、フットスイッチでご使用ください。
＊厚い布や固い布は、針が刺さりにくく止まってしまうことがあります。
＊『はずみ車』を手で回しながら縫い進めて下さい。(手で回しても固いときは、無理に回さないで下さい。)

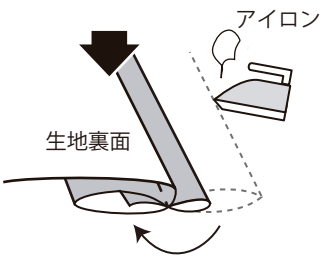
厚地を生地の端から縫い始めると『押え』が傾き、生地が進まなくなることがあります。
その場合、『押え』の下に厚地と同じ厚さの生地や厚紙を置き、傾きをなくすと順調に縫い進めることができます。

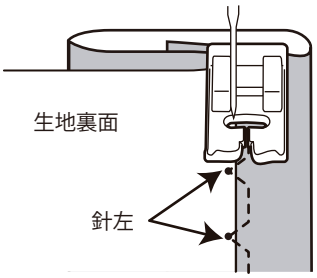
＊タオル地を縫うときは、両端の耳を切り落としてから縫ってください。
＊厚地を縫うときは、市販の家庭用ミシン針：16 番をご使用されることをおすすめします。
＊家庭用ミシン針：16 番は付属しておりません。

まつり縫い（裾上げ）









1 生地を図のように折り、
しつけをします。

2 しつけ縫い目を開き、
アイロンで伸ばします。

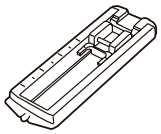
3 生地の折山に針左がわずかに
かかる位置に生地を合わせて
縫います。
生地を返し、しつけ糸を抜きます。

ボタンホール縫い

ボタンの大きさにあったボタンホールを縫うことができます。

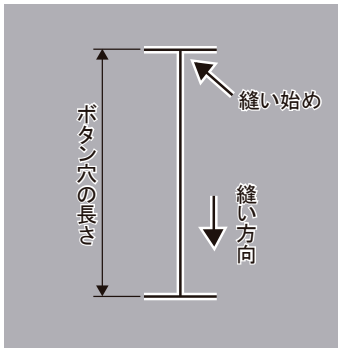
注意

- **押え交換時は、電源スイッチを『OFF』にする。**
  突然動くとケガをする恐れがあります。
- **針先に注意する。**
  ケガをする恐れがあります。
- **縫い損じを防ぐため、製品に縫う前に必ず別生地でボタンホールを作り、ボタンが通るかご確認ください。**

押え	模様表示
 ボタンホール押え	

ポイント

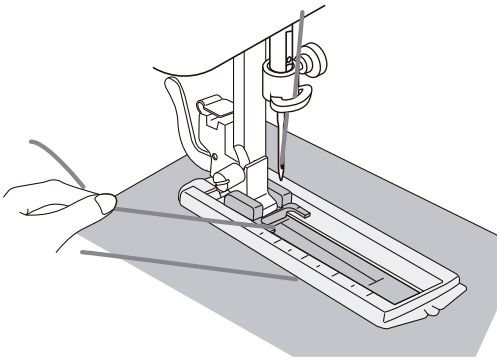
伸縮性の生地や薄い生地は不織布 (芯地) を裏に貼るとよりきれいに仕上がります。



1 ボタンの大きさと厚さ、生地の種類に応じてボタンの穴の長さを決め、ボタンホールを作る生地に印を付けます。

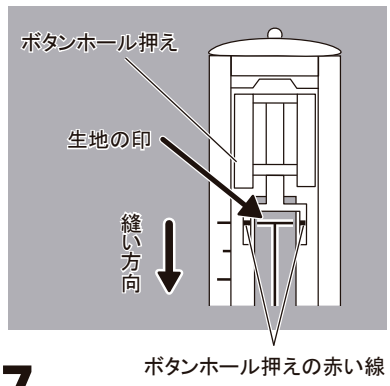
＊ 生地に印を付けておくと、縫う方向を間違えません。

ボタンの穴の長さ＝ボタンの直径＋ボタンの厚み



2 『 押え 』を『 ボタンホール押え 』に交換し、
『 ボタンホール押え 』の枠を手前に引いておきます。
（P8 ／押えの取り外しかた・取り付けかたを参照してください ）

＊『 ボタンホール押え 』は、『 押え上げレバー 』を 2 段目まで上げて交換してください。
（P8 ／押え上げレバーを参照してください ）

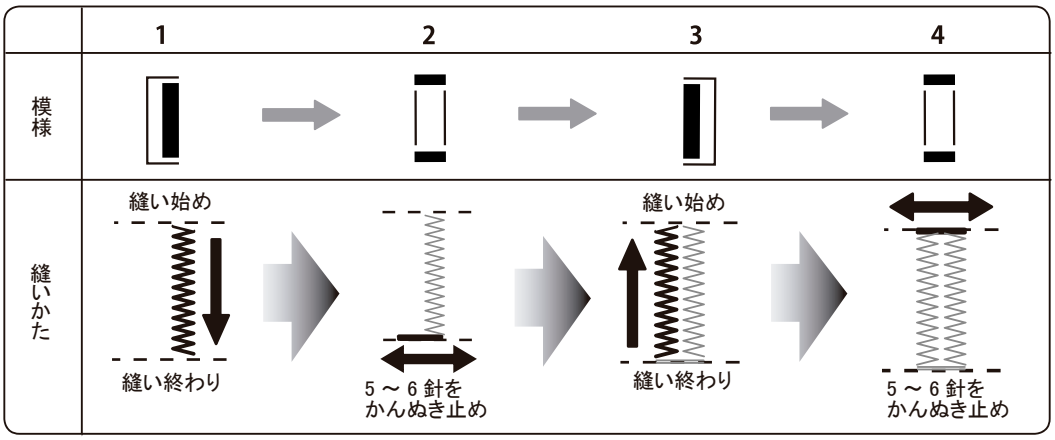


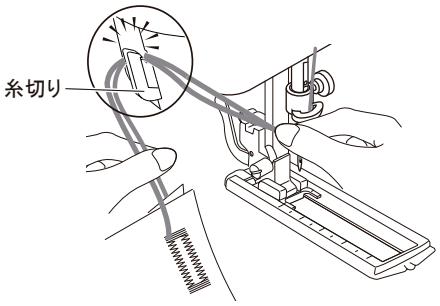
3 生地に付けたボタンホールの印と
『 ボタンホール押えの赤い線 』を合わせて、生地を置きます。
『 押え上げレバー 』で『 ボタンホール押え 』を下げます。

＊ 生地が斜めになっていると、ボタンホールが生地に対して斜めに作られますのでご注意ください。

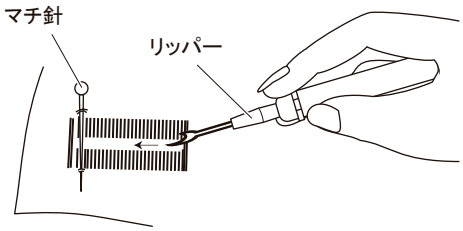
4 以下の手順で縫い始めます。

1.『 模様選択ダイヤル 』を回して、『 ボタンホール模様 1 』を選択し、上糸を軽く持ち、ミシンを動かして縫い始めます。縫い始めから縫い終わりまで縫い、ミシンを止めて持っている上糸を切ります。
2.『 模様選択ダイヤル 』を回して、『 ボタンホール模様 2 』を選択し、ミシンを動かして 5 ～ 6 針かんぬき止めをしてミシンを止めます。
3.『 模様選択ダイヤル 』を回して、『 ボタンホール模様 3 』を選択し、ミシンを動かして縫い終わりから縫い始めまで縫い、ミシンを止めます。
4.『 模様選択ダイヤル 』を回して、『 ボタンホール模様 4 』を選択し、ミシンを動かして 5 ～ 6 針かんぬき止めをしてミシンを止めます。





5 『 押え上げレバー 』で『 ボタンホール押え 』を上げ、糸切りで糸を切ります。



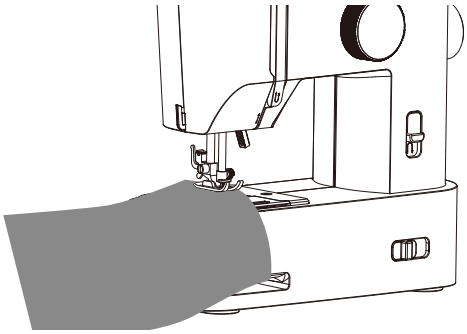
注意

・**リッパーの先端に手をそえない。**
ケガをする恐れがあります。

6 ボタンホールの穴に市販の『 リッパー 』を刺し、押しながらボタン穴を切り開きます。

＊ マチ針をかんぬき部分に刺しておくと、ボタンホールの切り開き過ぎを防げます。
＊『 リッパー 』は付属しておりません。

フリーアーム

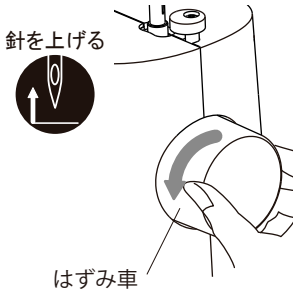


ズボンの裾や袖をそのまま左側から差し込んで筒状のものを縫うことができます。

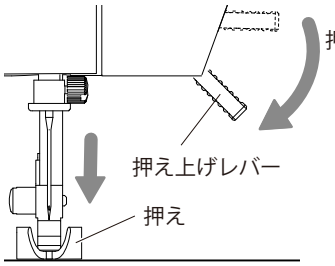
・ 針の交換

注意

- **AC アダプターをコンセントから抜く。**
- **電池を外す。**
  突然動くとケガをする恐れがあります。
- **針止めネジはしっかり締めます。**
  ミシン動作中に針が落下して、ケガをする恐れがあります。
- **針先に注意する。**
  ケガをする恐れがあります。



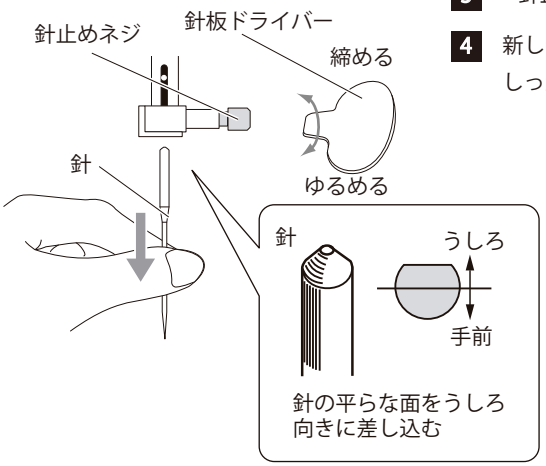
1 『はずみ車』を手前に回し、針を上げます。

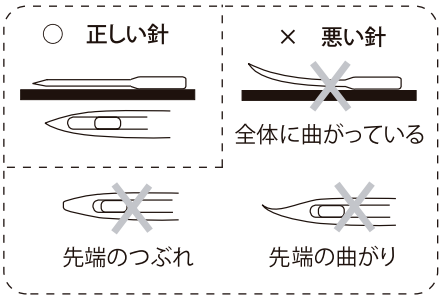


2 『押え 上げレバー』で『押え』を下げます。

3 『針止めネジ』を『針板ドライバー』で、手前に 1、2 回まわし針を外します。

4 新しい針を奥まで差し込み、『針止めネジ』を『針板ドライバー』でしっかり締めます。



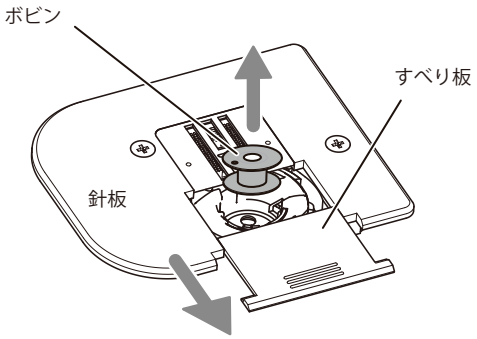


※ガラスのような平らな面に置き、針の曲がりを確認してください。

・ ボビンケースのそうじ

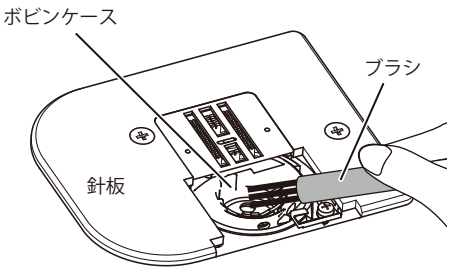
注意

- **AC アダプターをコンセントから抜く。**
- **電池を外す。**
  突然動くとケガをする恐れがあります。
- **機器の修理、改造、分解禁止。**
  ケガをする恐れがあります。



1 『すべり板』と『ボビン』を外します。

＊針板は分解しないで下さい。
（はずすと故障の恐れがあります）



2 『ブラシ』などで糸くずやホコリを取り除きます。

＊『ブラシ』は付属していません。

困ったときは

不具合	原因	処置	参照ページ
ミシンが動かない	● ACアダプターの差し込みが不十分 ● 電池を入れる向きが異なる	しっかり差し込みます 電池の向きを正確に入れ直します	P 4 P 4
ミシンが途中で止まる	● 布が厚く布が刺さりにくい ● 電池容量が減っている	正常です 厚布や固い布は針が刺さりにくいのではずみ車を手で回します 新しい電池に交換します	P 16 P 4
縫っている途中でランプが消える	● 布が厚く布が刺さりにくい ● 電池容量が減っている	正常です 厚布や固い布は針が刺さりにくいのではずみ車を手で回します 新しい電池に交換します 電源を入れ直す	P 16 P 4
布を送らない	● 縫い目の長さが布に合っていない ● 手で布を押えすぎている ● 押えが下がっていない	模様を選び直します 手は布にそえるだけにします 押え上げレバーを下げます	P7 P14 P8
針が折れる	● 布を無理に引っぱっている ● 針の取り付けかたを間違っている、締めかたがゆるい ● 布に対して針が細すぎる ● 上糸調子が強すぎる	手は布にそえるだけにします 正しく付け直します 布と糸、針の関係を合わせます 上糸調子を微調整します	P 14 P 14 P 15 P 15
回転が重く、音が大きい	● ボビンケース周辺に糸くずやゴミが溜まっている	掃除します	P 19
縫い目に輪ができる	● 下糸のセットが間違っている ● 上糸のかけかたが間違っている ● 上糸調子が合っていない	正しくセットします 正しくかけ直します 適正な強さに調節します	P 11 P 12 P 15
布の裏がタオル状になる	● 上糸のかけかたが間違っている ● 上糸調子が弱すぎる ● 押えが下がっていない	正しくかけ直します 適正な強さに調整します 押え上げレバーを下げます	P 12 P 15 P 8
上糸が切れる	● 糸のかけかたが間違っている ● 針の取り付けかたが間違っている ● 上糸調子が強すぎる ● 布に対して糸が細すぎる ● 糸が劣化している	正しくかけ直します 正しく付け直します 適正な強さに調節します 布と糸、針の関係を合わせます 新しい糸に交換します	P 12 P 19 P 15 P 15 —
下糸が切れる	● 下糸のセットが間違っている ● ボビンケース周辺に糸くずが溜まっている ● 下糸がボビンに正しく巻けていない	正しくセットし直します 掃除をします 正しく巻き直します	P 11 P 19 P 10
縫い目が飛ぶ	● 針の取り付けかたを間違っている ● 針が曲がっているか、針先がつぶれている ● 布に対して糸と針が合っていない	正しく付け直します 針を交換します 布と糸、針の関係を合わせます	P 19 P 19 P 15
縫い目にしわができる	● 上糸のかけかたが間違っている ● 下糸のセットが間違っている ● 針の先がつぶれている ● 上糸調子が強すぎる	正しくかけ直します 正しくセットし直します 針を交換します 適正な強さに調整します	P 12 P 11 P 19 P 15

この項に記載されている項目以外の不調、または部品の交換、電気系統の故障の修理サービスは『サービス係』までお問い合わせください。

サービス工場のご案内

【送付先】 **株式会社 アックス ヤマザキ サービス係　行**

〒 *544-0022* 大阪市生野区舎利寺 *3-12-5*　*TEL06-6717-5851*

フリーダイヤル *0120-405-851* （月曜~金曜　午前9：00~12：00　午後1：00～5：00　土曜・日曜・祝祭日休み）

純正部品のご購入は購入店または、上記のサービス工場へお申し込みください。
ご購入いただきましたミシンは、上記の専門工場で点検修理等のサービスを致します。
なお、サービスには有償と無償の場合がありますので、サービス工場にお問い合わせの上、ご送付ください。
※修理、引っ越し等の輸送にはご購入時のミシン箱と緩衝材（発泡スチロール）をご利用ください。

仕様

本体型式		MM-10	消費電力	9W
適用電源	アダプター	入力　AC100-240V 50/60Hz 0.3mA	使用針	家庭用ミシン針（HA x 1）
		出力　DC 6V 1.2A	本体寸法	幅：294mm 奥行き：115mm 高さ 265mm
	電池	単 3 形アルカリ電池 ×4 本	重量	2.1kg

MEMO

修理・保証サービス

● 修理サービスのご相談

1.このミシンのご購入者には、ご購入店から１ヶ年「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保存してください。
2.修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。
3.修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、ご購入店または、お客様相談係へお申しつけください。

● 無料修理保証期間後の修理サービス

1.取扱説明書に基づいて、正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします
ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。

イ.保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき
ロ.浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき
ハ.ご購入後の移動または輸送によって不調、故障、損傷したとき
ニ.ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき

2.長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によって元どおりに修復できないことがあります。
3.有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。

保証書

機種		MM-10	機械番号		ご購入後には※印欄への記入の有無をご確認下さい。記入がない時はご購入日、またはお届け日が証明できる伝票等を添付してください。本書は再発行致しません。紛失しないように大切に保管して下さい。
※お買い上げ日		年　月　日	保証期間	お買い上げ日より本体１ヶ年	
※お客様	ご住所 ご氏名	〒　-　TEL　-　-			
※販売店	住所 店名	〒　-　TEL　-　-			

無料修理保証について

1. この取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに基づき正しい使用とお手入れがされ、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参・ご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。
2. なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてのご不明な点は、お買い上げの販売店または直接下記へご相談ください。
3. 次のような場合は、保証期間内であっても有料修理になります。
①保証書が提示されないとき　②保証書にお客様名・お買い上げ日・販売店の記入がないとき　③消耗部品の交換
④お買い上げ後の落下や輸送上の故障・損傷　⑤ご使用後の傷、変色、よごれ及び保管上の不備による損傷
4. また、次のような場合は有料でも修理ができないときがあります。販売店にご相談ください。
①保管上の不備または、まちがった使用での不調・故障または損傷　②火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障・損傷
③お買い上げ後の落下や輸送上の故障・損傷　④職業用としての無理なご使用による故障・損傷　⑤購入店または当社の指定する販売店/サービス店以外での修理、分解や改造されたための故障・損傷
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。　This Warranty is valid only in Japan.
6. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
7. 贈答品などで本書記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合は、直接下記へご相談ください。
8. 長期間にわたり、ご使用されたミシンの精度の劣化は元どおりに修復できないことがあります。
9. 有料修理の場合は、別に定める必要部品代金、輸送費および技術料の合計となります。
※この保証書は、本書により明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によりお客様の法律上権利を制限するものではありません。なお、ご不明な点はお買い上げの販売店または直接下記へ、お問い合わせください。

【保証責任者】　株式会社 アックス ヤマザキ
〒544-0022　大阪府大阪市生野区舎利寺 3-12-5
TEL：06-6717-5851

No.164R2　202001　PRINTED IN CHINA